



Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科（通称「人環」）（じんかん）では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このリーフレットでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流



第17回国際交流セミナー
（2頁参照）

毎年多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究活動、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています（表1参照）。2008年度、海外から本研究科を訪れた研究者は次の通りです。

外国人研究員（客員教授・准教授）

・次頁（2頁）で詳しくご紹介していますのでそちらをご覧ください。

外国人招聘学者〔（ ）内は国籍／所属・身分〕

- ・周浙昆先生（中国／中国科学院昆明植物研究所教授）
- ・徐時清先生（中国／中国計量大学副教授）
- ・Robert Glasert先生（イスラエル・米国／イスラエル・ベングリオン大学教授）

- ・Wouter Jacques Van Bekkum先生（オランダ／フローニンゲン大学教授）
- ・Muhammad Kamran Naqi Khan先生（パキスタン／ハムダード大学教授）
- ・黎燕先生（中国／広東広州 暨南大学講師）
- ・金貞禮先生（大韓民国／全南大学教授）
- ・Raymond Renard先生（ベルギー／モンス・エノー大学名誉教授）
- ・金良宣先生（大韓民国／嶺南大学准教授）

外国人共同研究者〔（ ）内は国籍／所属・身分〕

- ・Sheuo Hui Gan博士（マレーシア／学振外国人研究員）
- ・Esther H. Palandi氏（インドネシア／スラバヤ国立大学博士課程）
- ・Steven Trensou博士（ベルギー／仏国立高等研究院研究員 学振外国人研究員）
- ・Regis Defurnaux博士（ベルギー／ナムール大学助教）
- ・顧寧博士（中国／学振外国人研究員）
- ・Roberto Terrosi博士（イタリア／学振外国人研究員）
- ・全婉澄氏（中国／中山大学博士課程）
- ・Christina S. Handayani博士（インドネシア／ジャカルタ大学ポスドク）
- ・張日迎博士（大韓民国／清州大学専任研究員）
- ・呉魯平博士（中国／中国青年政治学院研究員）

また、本研究科からは多くの研究者が学会参加や共同研究のため海外に出掛けており、その数は2008年度には延べ約100名以上にのぼりました。

年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
外国人研究員（客員教授・准教授）	6	6	3	4	6	8	6	6	7
外国人招聘学者	1	1	2	5	2	4	3	3	9
外国人共同研究者	0	3	5	1	1	4	6	5	10

表1 研究者の交流 (人)

国際交流セミナー

大学院人間・環境学研究科では、常時一名ないし二名の外国人研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。懇親会では大いに話が弾みます。以下、2008年度中に実施された国際交流セミナーを簡単にご紹介しましょう。

第16回 2008年5月16日

演者 邱建榮 (Qiu Jianrong) 先生
中国 浙江大学材料科学
エンジニアリング研究科教授
演題 ガラス、この魔訶不思議なもの



第17回 2008年6月24日

演者 ヨセフ・ヤハロム (Yosef Yahalom) 先生
イスラエル ヘブライ大学
人文学部ヘブライ文学科教授
演題 中世ユダヤ詩人の放浪と冒険
ーオキシデントとオリエントのあいだでー



第18回 2008年9月9日

演者 ディーター・シュブレーン (Dieter Spreen) 先生
ドイツ ジーゲン大学 数学科教授
演題 戦後ドイツにおける大学制度の変遷
ー個人的な回想ー



第19回 2008年10月23日

演者 レスリー・ライセロヴィッツ (Leslie Leiserowitz)
先生
イスラエル ワイツマン研究所教授
演題 科学の入り口に至るまでの紆余曲折と心の旅。



第20回 2008年10月31日

演者 タチアナ・ブーズィーン-シャミーバ
(Tatiana Bouzidine-Chameeva) 先生
フランス ボルドー・マネジメントスクール教授
演題 ボルドーワイン生産者のグループダイナミクス



2008年度には、以上の他に、アンリ・ベス (Henri Besse) 先生 (フランス・リヨン文学・人文科学高等師範学校元准教授) およびヴェロニック・クローディヌ・マリー・カステロットィ (Véronique Claudine Marie Castelloti) 先生 (フランス・トゥール・フランソワ・ラブレール大学教授) が外国人研究員として人環に滞在しておられます。

留学生の概要

本研究科では多くの留学生が勉学や研究に励んでいます。ちなみに、京都大学全体では2008年5月1日現在1,336名の留学生が在学していますが、そのうち115名が本研究科で学んでいます(表2参照)。115名という数は本研究科の全在学生約650名(修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別研究生を含む)の約18%に当たり、また、その出身地は26カ国に及んでいます(表3参照)。

1991年(平成3年)4月の開学以来、74名の留学生が博士の学位を取得しました。

表2 留学生受け入れ数
(各年度5月1日現在、留学ビザの者のみ)

年度	留学生数
2000年	72人
2001年	85人
2002年	90人
2003年	102人
2004年	106人
2005年	97人
2006年	106人
2007年	101人
2008年	115人

表3 2008年5月1日現在留学生数
(留学生出身地別人数)

中国	61	韓国	14
台湾	9	イスラエル	3
インド	3	米国	2
インドネシア	2	ロシア	2
英国	2	アルゼンチン	1
ウズベキスタン	1	ウクライナ	1
オーストラリア	1	コロンビア	1
ジャマイカ	1	ギリシャ	1
グアテマラ	1	パレスチナ	1
ドイツ	1	ニュージーランド	1
ベネズエラ	1	ベトナム	1
モンゴル	1	ポーランド	1
ルーマニア	1	香港	1
計 115			

留学生研修旅行

本研究科では毎年秋、留学生研修旅行を実施しています。留学生にとっては、ひととき、勉強のプレッシャーから解放されて、日本文化に接したり他の留学生や教職員と交流できる良い機会です。留学生の皆さんは、ぜひ申し込んで下さい(詳細は10月初めに発表予定)。

これまでの旅行先は次の通りです(1999年—2001年は日帰りバス旅行、2002年以降は一泊旅行)。

- 1999年11月 姫路城、兵庫県立歴史博物館
- 2000年11月 伊賀上野、柳生
- 2001年11月 淡路島、須磨
- 2002年11月 飛騨、高山
- 2003年11月 加賀、金沢
- 2004年11月 天橋立、城崎
- 2005年10月 高野山
- 2006年11月 広島、安芸の宮島
- 2007年11月 伊勢、鳥羽
- 2008年11月 倉敷、琴平、高松、鳴門

2008年倉敷、四国への研修旅行の写真から



倉敷アイビースクエアで



金刀比羅宮の登り口で



旅館のロビーで



金刀比羅宮奥社よりの眺め



美しい栗林公園



鳴門の渦潮をバックに

海外留学など

本研究科の学生が海外留学をする場合、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、派遣制度を利用しない一般留学（学位取得過程での在外研究を含む）、そして語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は、早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学留学生課発行「海外留学の手引」を参考にして下さい）。

また、留学以外にも、フィールド調査や学会出席のため、毎年、人環の大学院生数十人が海外へ出掛けています。

池野絢子さん（12講座・博士課程）

イタリア・トリノ大学 文学・哲学部

単科コース履修生

平和中島財団奨学金による留学（H19.9～H21.8）



友人の妹さんの卒業式で、
大学構内にて
（右から二人目が池野さん）



大家さんの実家で開かれた
クリスマス・イブの夕食会
（右手前が池野さん）

河原大輔さん（11講座・博士課程）

米国・ロチェスター大学 大学院視覚文化研究プログラム

大学院生

フルブライト奨学金による留学（H20.9～）



オリエンテーション（上段中央が河原さん）



フィラデルフィアにて
友人と（左端が河原さん）



大学の図書館

大学院人間・環境学研究科／総合人間学部 「国際交流推進後援会」にご加入下さい

人環／総人に在籍する留学生および外国人研究者に対する援助、支援を行うと同時に、その他の国際交流活動を推進するための財政的基盤を確立する目的で、2005年1月1日付けにて「京都大学大学院人間・環境学研究科／総合人間学部国際交流推進後援会」が設立されました。この後援会は、本研究科の教職員に限らず、その趣旨にご賛同頂ける方ならどなたでも加入して頂けます（一口2000円）。詳しくは、人環大学院掛窓口までお問い合わせ下さい。

第1回「留学報告会」実施 2008年11月27日

海外留学を終えて帰国した学生による「留学報告会」が実施され、具体的に留学を計画している人、将来留学を考えている人などが熱心に聞き入りました。



岡本源太さん（2007年10月-
2008年9月 仏・パリ社会科学
高等研究院に留学）



北岡幸代さん（2007年2月-
2008年8月 独・ベルリン
自由大学に留学）

◇URL

<http://www.h.kyoto-u.ac.jp/jinkan/>→人間・環境学研究科案内→国際交流

◇問い合わせ先

*国際交流委員／留学生担当講師 藤田糸子

Phone: 075-753-6868

Email: itokofujita@hes.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

*京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛

606-8501 京都市左京区吉田二本松町

Phone: 075-753-2952（担当：川崎）

Email: Skawasaki@staff.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

